

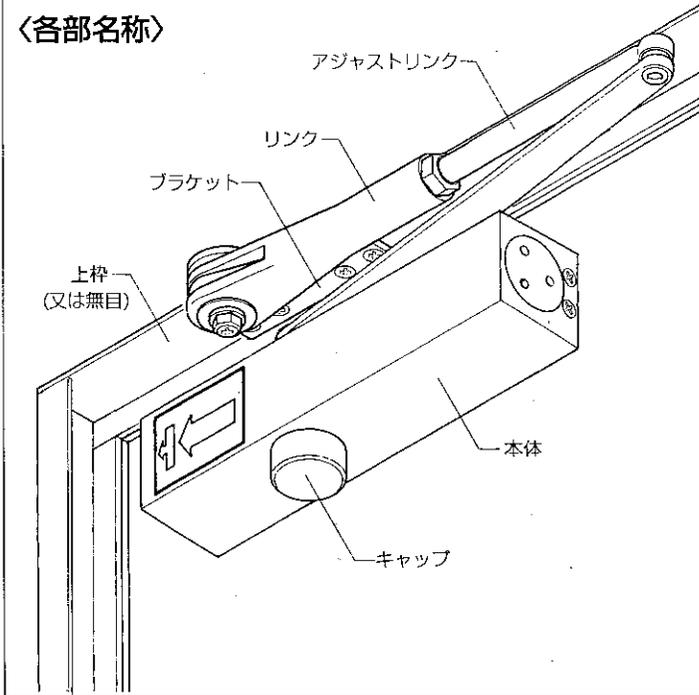
■お願い

- このクローザは、室内側に取り付けます。
- 本説明書は、外観右吊元用で示してあります。左吊元の場合も、同じ要領で取り付けてください。

▲注意

- ドアクローザの閉じ速度は、遅くなる方から速くなる方へ調整してください。速くなる方から遅くなる方へ調整すると、ドアに指などはさんでけがをする恐れがあります。

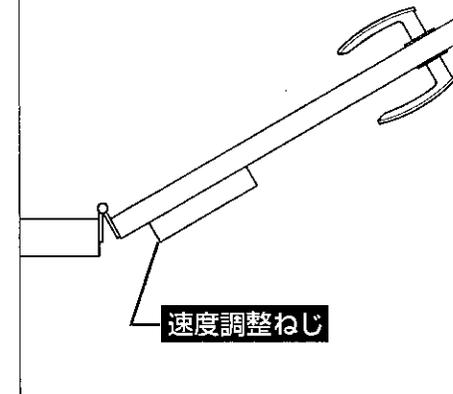
■各部名称及び速度調整ねじの向きについて



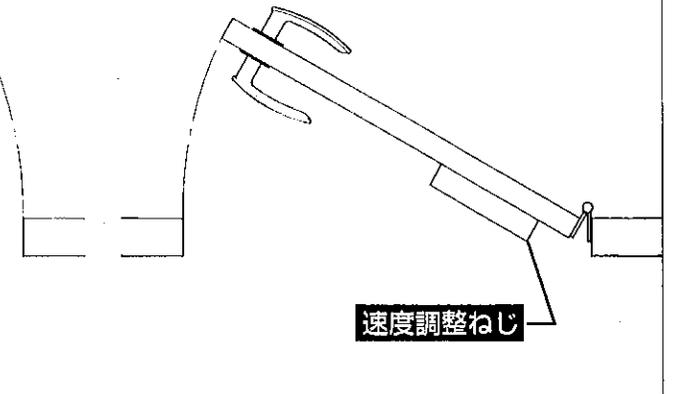
〈速度調整ねじの向き〉

- このドアクローザは、左右勝手兼用です。取付けの際、速度調整ねじを吊元側にしないと取り付けできません。

〈右吊元の場合〉



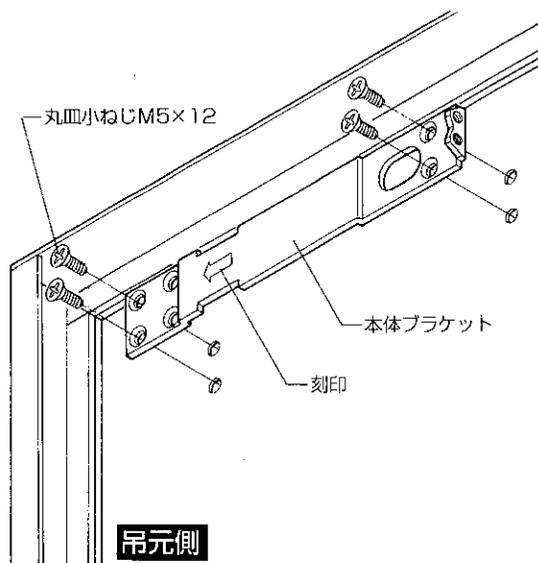
〈左吊元の場合〉



■取付け順序

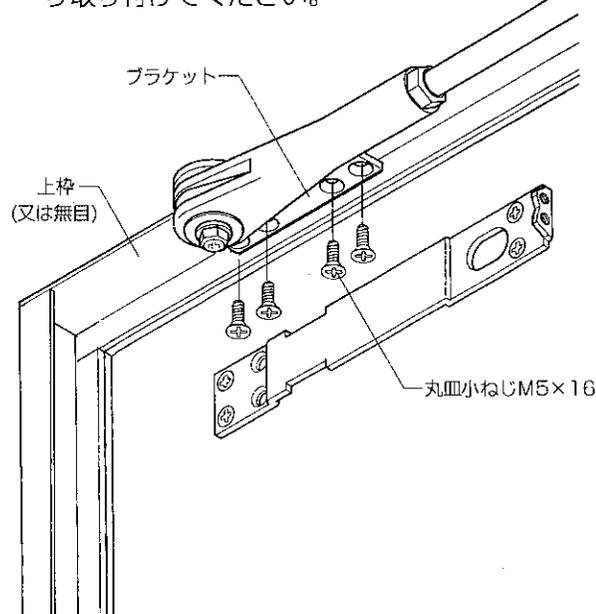
1 本体ブラケットの取付け

- 1 本体ブラケットをドア本体に取り付けます。その際、本体ブラケットの刻印(←印)を吊り元側にして取り付けてください。



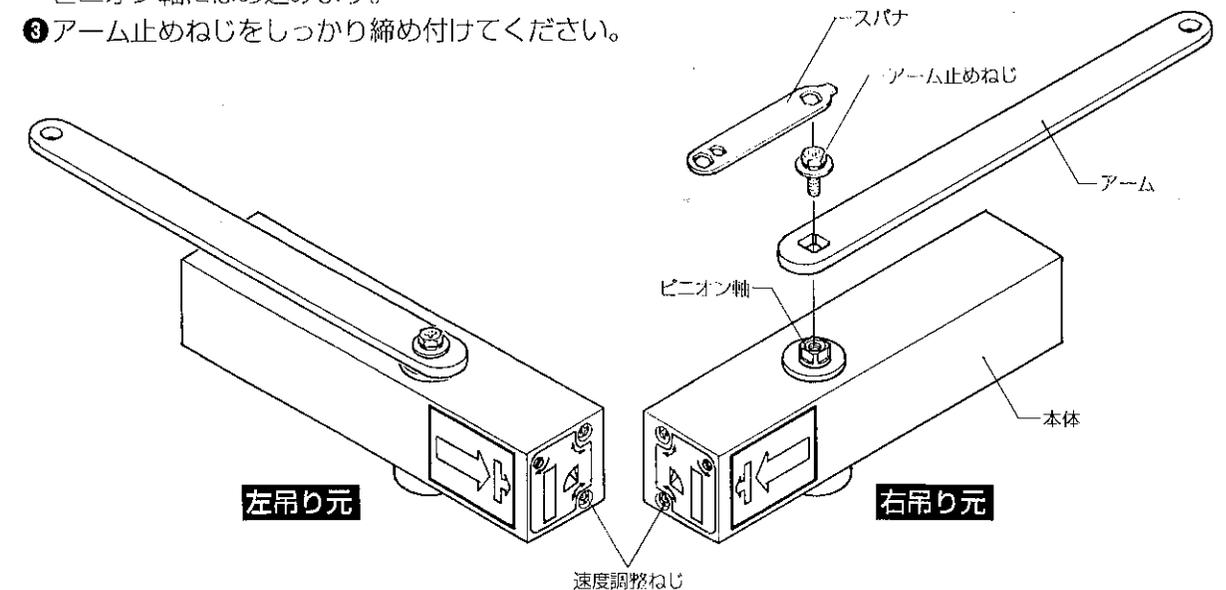
2 ブラケットの取付け

- 1 ブラケットを上枠または、無目にねじでしっかり取り付けてください。



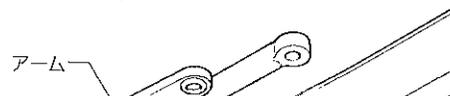
3 アームのクローザ本体への取付け

- 1 クローザ本体の速度調整ねじを吊元側に向けます。
- 2 アームの長手方向を戸先側にして、図のように、ピニオン軸にはめ込みます。
- 3 アーム止めねじをしっかり締め付けてください。



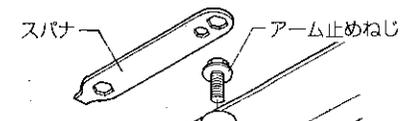
4 クローザ本体の取付け

- 1 クローザ本体の速度調整ねじを吊元側に向けます。



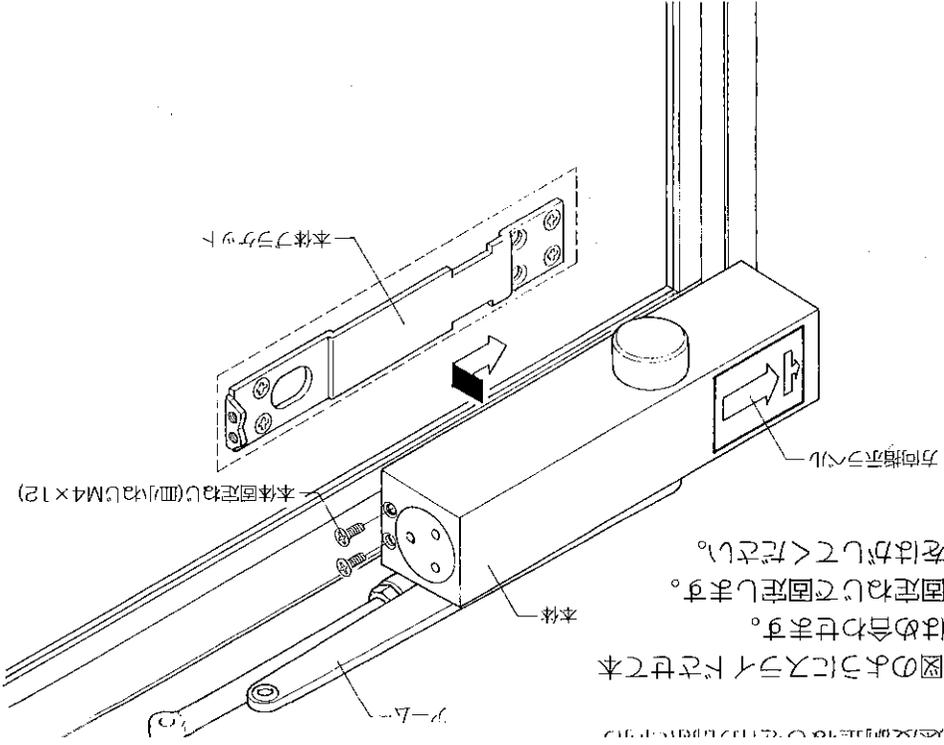
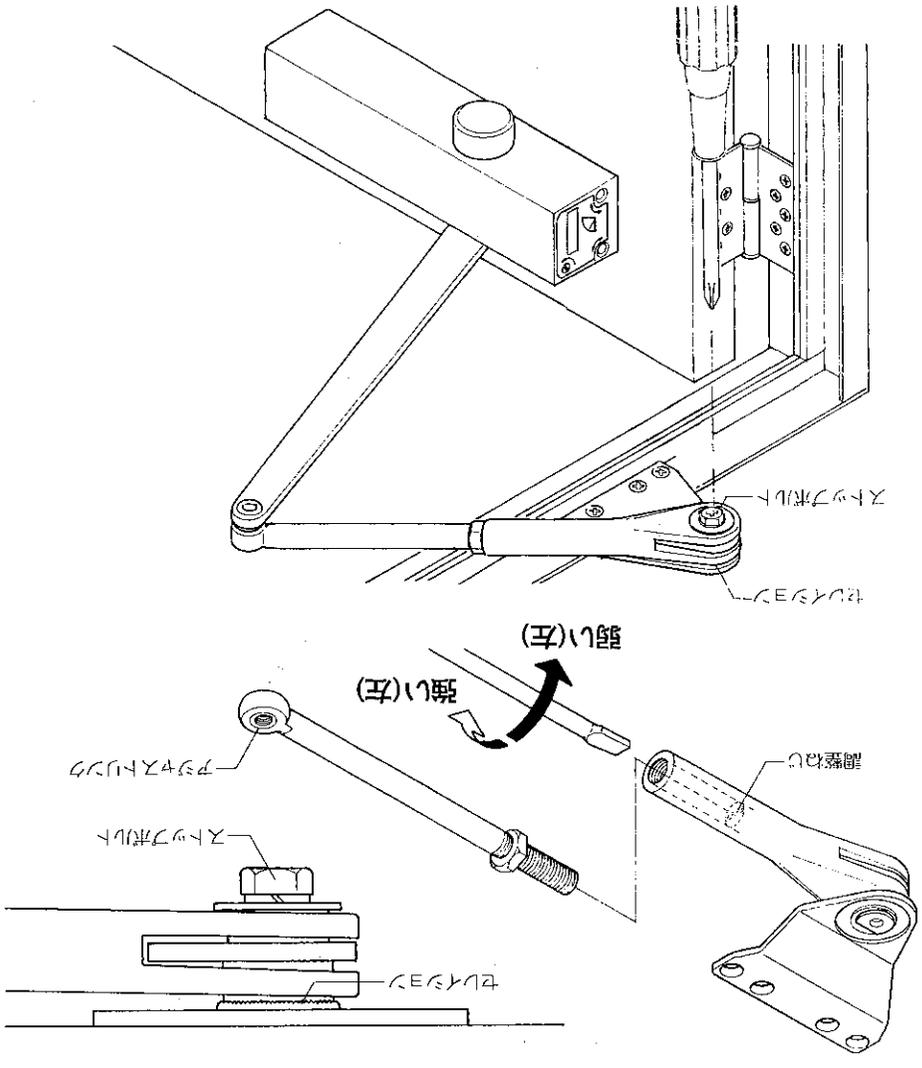
5 アームの連結

- 1 リンクの先端の穴にアーム先端のピンをはめ合わせ連結します。



■ストッパ強さの調整

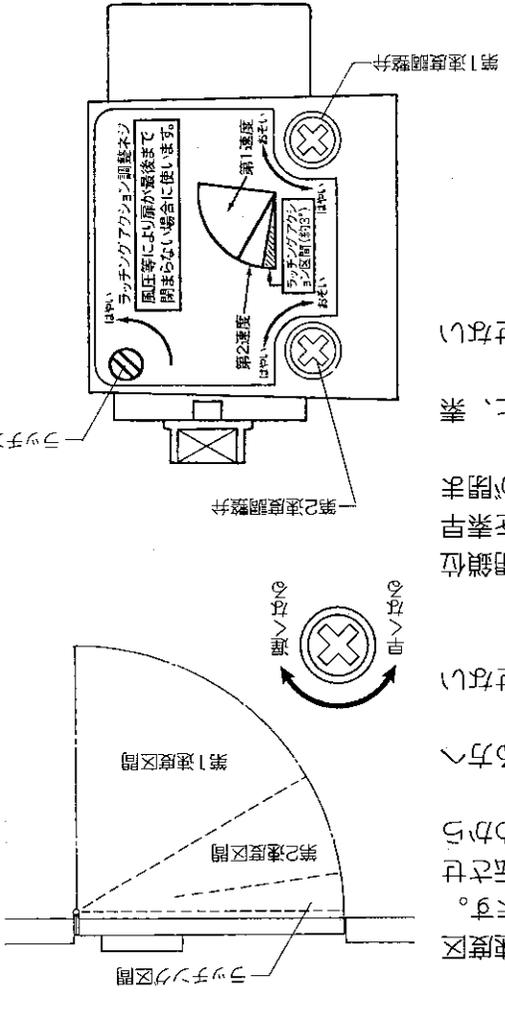
●ストッパ角度の調整
 ●ストッパをストッパさせる角度まで開き、ストッパホルトをドライブできく締め付けます。締め付ける時は、ストッパ装置のセリシヨンの部のかみ合いを確認してください。かみ合いの悪い場合は、ドアを少しゆすりながら、ストッパホルトを締めつけてください。ストッパ装置の締め付け力が不足している、ストッパ装置の事故の原因になります。あらかじめストッパ装置の強さは、調整済みです。調整が必要な場合は、ストッパ装置にねじ込まれているアジャスターリックを外し、調整ねじをドライブで左右いすれかに回転します。右に廻すとストッパ力は強くなります。左に廻すとストッパ力は弱くなります。
 ※調整ねじは左右1回転以上廻さないでください。



②クローザ本体を図のようにドライブさせて本体マウントにはめ合わせます。
 ③戸先側から本体固定ねじで固定します。
 ④方向指示レベルをはがしてください。

■ドア(扉)閉じ速度の調整

①閉じ速度は、第1速度区間及び第2速度区間、それぞれ個別の調整ねじで行います。
 ②速度調整ねじを左右いすれかに回転させます。適正速度は、ドアの閉じ始めから閉じ終わりまで4~6秒位です。
 ※調整ねじは遅くなる方から速くなる方へ調整してください。
 ※調整ねじは左へ1回転以上回転させないでください。
 ②タッチソフタシヨンの調整
 ※タッチソフタシヨンは、ドアが閉鎖位置手前(約3°)まできた時点でドアを素早く閉める機能です。風が強くとドアが閉まらせない場合などに使用します。
 ①調整ねじを反時計方向に回転すると、素早くドアが閉まります。
 ※調整ねじは左へ2回転以上回転させないでください。



②アーム止めねじをしっかりと締め付けます。
 ③キャッツは下からリチツとはめてください。
 ④合わせ連結します。

